

「インクルーシブ教育講演会」

一木玲子さんをお招きして、インクルーシブ教育についての講演会をおこないます。

大阪では大空小学校の取り組みが有名ですが、大阪と他府県の取り組みの違いを日本の障害児教育法制と障害者運動の歴史から紐解きます。現在の日本の法制度は、障害者権利条約に記載されているインクルーシブ教育の観点から見るとどう評価できるのか、我々の今後の課題について一緒に考えていければと思います。

この機会に、ぜひともご参加のほう、お待ちしております。

■ 日 時

2018年3月8日(木) 18:00~20:00 講演
20:00~21:30 交流会

■ 場 所

NPOちゅうぶ事務所 4階 (大阪市東住吉区田辺 5-5-20)

最寄り駅 近鉄南大阪線今川駅から徒歩5分、地下鉄谷町線田辺駅から徒歩10分

■ 参加費

講演 500円(介護者無料)
交流会 1000円(介護者500円) 交流会の参加は自由です。

■ 講師の紹介



一木玲子 (いちきれいこ) さん

大阪経済法科大学アジア太平洋研究

センター客員研究員

公教育計画学会理事、インクルーシブ教育部会長

専門は障害のある子どものインクルーシブ教育制度。フィールドはイタリアと日本。大学時代に一人暮らしをしている女性の介助に入ったことから、障害者運動、障害児の就学闘争に関わる。養護学校、特殊教育に疑問を持ち共生共育(インクルーシブ教育)研究の道へ。大学院では知的障害児の共生共育、イタリアのインクルーシブ教育制度を論文にまとめる。2001年より愛知みずほ大学教職課程専任講師、2011年より筑波技術大学教職課程准教授、2016年より現職。2016年9月から一年間被災地障害者支援センターくまもとの事務局を兼任した。東京在住

■ 尾上浩二さん(NPOちゅうぶ代表理事)よりコメント



一木さんはインクルーシブ教育の研究者であるとともに実践家でもあります。DPIの様々なプロジェクトでもお手伝い頂いている信頼すべき人で、尾上が講演で使っているインクルージョンの図も一木さんに教えてもらいました。日本の学校の閉塞感が強くなっている時だからこそ、インクルーシブ教育が重要です。一人でも多くの方に参加して頂き、一緒に考えてもらえる機会となることを期待します。

★当日は、尾上さんも参加されます。

申し込み・お問い合わせ
NPOちゅうぶ
電話 06-4703-3740
Fax 06-6628-0271
担当: 富田通子 まで